
4 0 1 4 . 出港前報告B／L関連付け

業務コード	業務名
B L L	出港前報告B／L関連付け

1. 業務概要

出港前報告されたB/L*¹に対し、B/Lのセパレート、コンバイン、スイッチによりB/L番号の変更が発生した場合に、変更前後のB/L番号の関連付けを行う。また、当該関連付けの取り消しを行う。

本業務を行うことにより、変更後のB/Lに設定された出港前報告不一致（報告期限超過、出港前報告未済等）を解消する要件を満たした場合は、当該不一致を解消する。

（*1）B/Lの種類は以下のとおりとする。

①「オーシャン（マスター）B/L」

「出港前報告（AMR）」業務または「出港前報告訂正（CMR）」業務（以下、「AMR業務等」という。）で登録されるB/L。

②「ハウスB/L」

「出港前報告（ハウスB/L）（AHR）」業務または「出港前報告訂正（ハウスB/L）（CHR）」業務（以下、「AHR業務等」という。）でハウスB/Lとして登録されるB/L。

③「マスターB/L」

オーシャン（マスター）B/Lのうち、ハウスB/Lと関連付けされているB/L、またはマスターB/L識別に「M」を入力したB/L。

2. 入力者

船会社、船舶代理店、NVOCC

3. 制限事項

登録可能な変更前後のB/L番号の件数は、以下の通り。

B/L変更種別	変更前B/L番号	変更後B/L番号
セパレート	1件	10件
コンバイン	10件	1件
スイッチ	1件	1件

4. 入力条件

（1）入力者チェック

（A）登録の場合

- ①システムに登録されている利用者であること。
- ②入力者が船会社の場合は、変更前後のB/Lに対するAMR業務等、「積荷目録情報登録（MFR）」業務または「積荷目録情報訂正（積荷目録提出業務後）（CMF02）」業務（以下、「MFR業務等」という。）により登録された船会社と同一であること。
- ③入力者が船舶代理店の場合は、変更後B/Lに対して以下のいずれかの条件を満たすこと。なお、セパレートの場合は、変更後B/Lのうち、いずれか1件以上のB/Lに対して以下のいずれかの条件を満たすこと。
 - ・AMR業務等により登録された船卸港が国内港でない。
 - ・AMR業務等またはMFR業務等により登録された船卸港が国内港である場合は、当該船卸港において本船利用船会社との受委託関係がシステムに登録されている。
- ④入力者がNVOCCの場合は、変更前後のB/Lに対して以下のいずれかの条件を満たすこと。
 - ・「出港前報告（ハウスB/L）（AHR）」業務または「出港前報告訂正（ハウスB/L）（CHR）」業務（以下、「AHR業務等」という。）を行った利用者と同一である。
 - ・AHR業務等により登録された通知先と同一である。

- (B) 取消の場合
 - ①システムに登録されている利用者であること。
 - ②登録時と同一の利用者であること。
- (2) 入力項目チェック
 - (A) 単項目チェック
 - 「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。
 - (B) 項目間関連チェック
 - 「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。
- (3) 出港前報告B/L関連付けDBチェック
 - (A) 登録の場合
 - 入力された変更前B/Lおよび変更後B/Lが存在しないこと。
 - (B) 取消の場合
 - ①入力された変更前B/Lおよび変更後B/Lが存在すること。
 - ②入力された変更前B/Lと変更後B/Lの組み合わせが登録時と同一であること。
 - ③入力されたB/L変更種別が登録時と同一であること。
- (4) 出港前報告情報DBチェック
 - (A) 登録の場合
 - (a) 変更前B/Lに対するチェック
 - 入力された変更前B/Lに対して以下のチェックを行う。
 - ①AMR業務等またはAHR業務等により出港前報告が行われていること。
 - ②本業務により変更前B/Lまたは変更後B/Lである旨が登録されていないこと。
 - ③リスク分析結果の事前通知が登録されていないこと。
 - ④マスターB/Lの場合は、関連付けられたハウスB/Lに対してリスク分析結果の事前通知が登録されていないこと。
 - (b) 変更後B/Lに対するチェック
 - 入力された変更後B/Lに対して以下のチェックを行う。
 - ①入力された変更前B/LがハウスB/Lの場合は、AHR業務等により出港前報告が行われていること。
 - ②入力された変更前B/Lがオーシャン（マスター）B/Lの場合で、入力された変更後B/Lに対してMFR業務等により積荷目録情報登録が行われていない場合は、AMR業務等により出港前報告が行われていること。
 - ③入力された変更前B/Lがオーシャン（マスター）B/Lの場合で、入力されたいずれかの変更後B/Lに対してAMR業務等により出港前報告が行われている場合は、すべての変更後B/Lに対してAMR業務等により出港前報告が行われていること。
 - ④本業務により変更前B/Lまたは変更後B/Lである旨が登録されていないこと。
 - ⑤オーシャン（マスター）B/Lである場合は、変更前B/Lに登録されているマスターB/L識別と同一であること。
 - ⑥変更前B/Lに登録されている貨物識別（M：マスター、H：ハウス、O：マスター、ハウス以外）と同一であること。
 - ⑦変更前B/Lに登録されている船舶情報^{*2}と同一であること。
 - (* 2) 船舶情報とは、以下の5項目を指す。
 - ①船舶コード
 - ②航海番号
 - ③船会社コード
 - ④船積港コード

⑤船積港枝番

(B) 取消の場合

(a) 変更前B/Lに対するチェック

本業務により変更前B/Lである旨が登録されていること。

(b) 変更後B/Lに対するチェック

入力された変更後B/Lに対してAMR業務等により出港前報告が行われている場合は、本業務により変更後B/Lである旨が登録されていること。

(5) 貨物情報DBチェック

(A) 登録の場合

入力された変更前B/Lがオーシャン（マスター）B/Lである場合は以下のチェックを行う。

(a) 変更前B/Lに対するチェック

入力された変更前B/Lに対する貨物情報DBが存在しないこと。ただし、入力されたいずれかの変更後B/Lに同一B/L番号の入力がある場合を除く。

(b) 入力された変更後B/Lに対するチェック

入力された変更後B/Lに対して以下のチェックを行う。なお、②～⑦については、入力された変更後B/Lに対する貨物情報DBが存在する場合のみチェックを行う。

①AMR業務等により出港前報告が行われていない場合は、MFR業務等により積荷目録情報登録が行われていること。

②本業務により変更前B/Lまたは変更後B/Lである旨が登録されていないこと。

③船卸確認済でないこと。

④コンテナ詰貨物であること。

⑤コンテナタイプコードが「PL」以外のコンテナが登録されていること。

⑥仮陸揚貨物の旨が登録されている場合は、最終仕向地コードが国外港でない。

⑦船積港が国内港でない。

⑧入力された変更前B/Lに対する出港前報告情報DBに登録されている船舶情報（船積港枝番を除く。）と同一であること。

(B) 取消の場合

入力された変更後B/Lに対してMFR業務等により積荷目録情報登録が行われている場合は、本業務により変更後B/Lである旨が登録されていること。

5. 処理内容

(1) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「00000-0000-0000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-0000-0000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

(2) 出港前報告B/L関連付けDB処理

(A) 登録の場合

①B/L関連付け番号をシステムで払い出し、登録する。

②入力された変更前B/Lおよび変更後B/Lの組み合わせを登録する。

③入力されたB/L変更種別および変更理由を登録する。

(B) 取消の場合

入力された変更前B/Lおよび変更後B/Lに対する出港前報告B/L関連付けDBに対し、削除対象とする旨を登録する。

(3) 重量比較判定処理

「マスターB/Lに登録されている総重量」と「関連付けられているハウスB/Lの総重量の総計」を比較判定する。

(4) マスターB/LとハウスB/Lのマッチング判定処理

「入力されたマスターB/L」または「入力されたハウスB/Lに関連付けられているマスターB/L」に登録されている船舶情報に対してATD業務が行われている場合は、当該マスターB/Lに対してAMR業務等とAHR業務等の実施状況の判定を以下の通り行う。

また、AHR業務等の実施状況については、マスターB/L単位にハウスB/L報告完了の判定も行う。

項番	AMR業務等実施状況* ³	AHR業務等実施状況* ⁴	ワーニング対象判定
1	未済	済 (ハウスB/L報告完了未済)	対象
2	未済	済 (ハウスB/L報告完了済)	対象
3	済	未済	対象
4	済	済 (ハウスB/L報告完了未済)	対象
5	済	済 (ハウスB/L報告完了済)	対象外

(* 3) 判定対象のマスターB/Lに対してAMR業務等実施未済の場合でも、本業務に関連してマスターB/L未登録でないと判定されている場合は、AMR業務等実施済と判定する。

(* 4) 判定対象のマスターB/Lに対してAHR業務等実施未済の場合でも、本業務に関連してハウスB/L未登録でないと判定されている場合は、AHR業務等実施済と判定する。

(5) 出港前報告情報不一致判定処理

(A) 出港前報告情報処理

(a) 報告期限超過判定

報告期限までに「出港前報告」が行われていることを判定する。

(b) ハウスB/L未登録判定

マスターB/Lに対してハウスB/Lが関連付けられていることを判定する。

(c) マスターB/L未登録判定

マスターB/Lに対して「出港前報告」が行われていることを判定する。

(d) 船舶情報不一致判定

マスターB/LとハウスB/Lの船舶情報が同一であることを判定する。

(B) 貨物情報処理

入力された変更後B/Lが貨物情報DBに存在する場合は、当該B/Lに対して以下の判定を行う。

(a) 出港前報告未済判定

AMR業務等により「出港前報告」が行われていることを判定する。

(b) 出港日時報告未済判定

ATD業務により「出港日時報告」が行われていることを判定する。

(6) 出港前報告情報DB処理

入力されたB/Lに対する出港前報告情報DBが存在する場合は、入力されたB/Lに対して以下の①、②、④、⑤の処理を行う。

また、重量比較判定処理、マスターB/LとハウスB/Lのマッチング判定処理及び出港前報告情報不一致判定処理における判定対象B/Lに対して以下の③の処理を行う。

①登録の場合は、本業務が行われた旨を登録する。

- ②取消の場合は、本業務が行われた旨を取り消す。
 - ③重量比較判定処理、マスターB/LとハウスB/Lのマッチング判定処理及び出港前報告情報不一致判定処理（報告期限超過判定、ハウスB/L未登録判定、マスターB/L未登録判定、船舶情報不一致判定）の結果を登録する。
 - ④登録の場合で、以下の条件をすべて満たす場合は、変更後B/Lの出港前報告日時に変更前B/Lの出港前報告日時*⁵を登録する。
 - ・変更後B/Lが出港前報告済である。
 - ・変更前B/Lの出港前報告日時*⁵が変更後B/Lの出港前報告日時より過去日である。
 - ⑤取消の場合は、変更後B/Lの出港前報告日時に、当該変更後B/Lに係るAMR業務等またはAHR業務等で登録した出港前報告日時を登録する。
- (* 5) コンバインの場合は、変更前B/Lの中で最も未来日となる出港前報告日時。

(7) 貨物情報DB処理

入力された変更後B/Lに対する貨物情報DBが存在する場合は、入力された変更後B/Lに対して以下の処理を行う。

- ①登録の場合は、本業務が行われた旨を登録する。
- ②取消の場合は、本業務が行われた旨を取り消す。
- ③出港前報告情報不一致判定処理（出港前報告未済判定、出港日時報告未済判定）の結果を登録する。

(8) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

6. 出力情報

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
出港前報告不一致情報 (税関)	「出港前報告情報不一致判定処理（報告期限超過判定、ハウスB/L未登録判定、マスターB/L未登録判定、船舶情報不一致判定）」において、出力要と判定したB/Lが存在する場合	税関
	「出港前報告情報不一致判定処理（出港前報告未済判定、出港日時報告未済判定）」において、出力要と判定したB/Lが存在する場合	税関
出港前報告不一致情報 (民間)	以下の条件をすべて満たす場合 (1) 「出港前報告情報不一致判定処理（報告期限超過判定、ハウスB/L未登録判定、マスターB/L未登録判定、船舶情報不一致判定）」において、出力要と判定したB/Lが存在する (2) (1)のB/Lに対してATD業務が行われている、または、マスターB/L未登録の不一致である旨が登録されている場合は、入力されたハウスB/Lに対してATD業務が行われている (3) (1)のB/Lに対して本業務により変更前B/Lである旨が登録されていない（ただし、同時に変更後B/Lである旨が登録されている場合を除く）	ATD業務実施者 (税関でない場合)

情報名	出力条件	出力先
	以下の条件をすべて満たす場合 (1) 入力されたB/Lに対する「出港前報告情報不一致判定処理（報告期限超過判定、ハウスB/L未登録判定、マスターB/L未登録判定、船舶情報不一致判定）」において、出力要と判定したB/Lが存在する (2) (1)のB/Lに対してATD業務が行われている (3) (1)のB/Lに対して本業務により変更前B/Lである旨が登録されていない（ただし、同時に変更後B/Lである旨が登録されている場合を除く） (4) オーシャン（マスター）B/Lが入力された	入力者
	以下の条件をすべて満たす場合 (1) 「出港前報告情報不一致判定処理（出港前報告未済判定、出港日時報告未済判定）」において、出力要と判定したB/Lが存在する (2) (1)のB/Lに対してDMF業務が行われている	DMF業務実施者 入力者
ハウスB/L報告状況 通知情報	「出港前報告情報不一致判定処理（ハウスB/L未登録判定）」において、ハウスB/L未登録である旨を取り消したマスターB/Lが存在する場合に、当該マスターB/Lに係る情報を出力する	AMR業務等実施者
出港前報告情報		税関